

せいぶつ新聞



平成30年 年頭のご挨拶

病院長 芹澤 寛

新年あけましておめでとうございます

芹沢病院に通院されている患者様、入院されている患者様ならびにご家族様、また平素より大変お世話になっております関係者各位におかれましては、穏やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。



昨年を振り返りますと、九州北部豪雨や台風による風水害により、日本各地で大きな被害が出てしまいました。被災された方におかれましては、謹んで心よりお見舞い申し上げます。静岡県でも南海トラフ地震が憂慮されておりますので、当院では引き続き、防災訓練や日頃の備えに力を入れてまいります。また、政治に関しましては、衆議院選挙や東京都議選など、激動の一年となりました。政治の影響を受けて経済も大きく変動し、11月には戦後2番目の「いざなぎ景気」を超えるという景気動向指数が示されました。しかし、生活での実感としては、好景気を感じられないような状況があいかわらず続いております。

そういった経済状況や国民全体の医療費などを鑑みて、4月には6年に一度の医療法・介護法の同時大改定があります。詳細はまだわかりませんが、増大を続ける医療費・介護費を抑制するため、診療報酬は前回に引き続きマイナス、介護報酬は現状維持か少しのマイナスとされています。芹沢病院では改定の内容に関わらず、『質の高い安全で安心な医療・介護』をみなさまに提供させていただくよう職員一同、努力をしております。

さて、話は変わりますが、本年の大きなイベントとして、韓国で行われる平昌・冬季オリンピック、ロシア・ソチで行われるサッカーワールドカップがあります。特に私はサッカー日本代表の大ファンで、組み合わせ抽選会は固唾をのんで見守っておりました。日本代表はグループH、ポーランド・セネガル・コロンビアと対戦します。「死の組」と言われる強豪国がひしめくグループではありませんが、油断は禁物です。とくに初戦のコロンビアは、前回大会でも対戦し1-4で敗れていますので、雪辱を晴らしてもらいたいと思います。

オリンピック日本代表・サッカー日本代表の奮起・飛躍を願いつつ、同じように芹沢病院の職員一同も奮起し、地域の皆さまのご期待に添える病院でありたいと、決意を新たにしております。地域の『かかりつけ病院』として『良質な医療サービスの提供』を心掛け、医療・介護・健診と多岐にわたり、努力を重ねてまいります。ご指導・ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。本年が皆様方にとって素晴らしい年になりますよう、心よりご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

